

大臣官房

Minister's Secretariat

大臣官房

- 秘書課
- 総務課
- 会計課
- 企画課
- 政策評価広報課
- 参事官



Mission

大臣官房は、総務省の政策の企画・立案過程や、法令案の作成過程等において、省の進むべき方向を明らかにする「省の舵取り役」を担っています。また、総務省全体を見渡し、省内の事務が円滑に運営されるよう調整することで、省の組織を支えています。

省の舵取り役

総務省は、国の基本的な行政制度の管理・運営、地方自治や消防・救急行政、情報通信技術（ICT）を活用した成長戦略の実現といった幅広い政策を担当しています。このため、様々な政策の企画・立案過程において、総務省として対応を取りまとめ、省庁間の協議や省内の調整を行う「舵取り役」の役割はとても重要です。例えば、「経済財政諮問会議」、「すべての女性が輝く社会づくり本部」、「まち・ひと・しごと創生本部」、「新しい資本主義実現会議」などの政府の重要な会議で扱う政策課題について、総務省を代表して意見を述べたり、担当する政策の実行を主導したりしています。

企画立案された政策を法令に反映させる場合も大臣官房が、法令案の作成や、国会関係業務等に関する省全体の「舵取り役」を担います。具体的には、審査業務として、総務省において作成する膨大な量の公文書や法令案について、総務省の施策に合致しているか、あるいは、規定の整合性や表現的確性が確保されているかなど、細部にわたりチェックを行います。さらに法令について他府省から協議を受けたりする際の窓口にもなります。

他にも、省全体の意思疎通を円滑にするため、大臣官房と各部局間の定期的な連絡会議を主催するなど、省の方針決定の要所を担っているのが大臣官房といえます。

より生き生きとした総務省を創る

省の舵をとるだけでなく、大臣官房は省全体を運営する立場にあります。適材適所の人材配置・研修による能力アップ・職員の福利厚生の向上を図ることで、職員が自らの能力を伸ばしながら、ひとりひとりが生き生きと仕事ができるための環境をつくります。さらに、その時代や環境に応じた組織編成とするため、総務省全体の機構及び定員の調整を行ったり、総務省の諸施策を実施するための予算要求を行ったりすることも大臣官房の重要な役割です。

また、最新のデジタル技術を活用した政府共通の業務環境（ガバメントソリューションサービス（GSS））への移行を契機として、総務省DXを推進しています。セキュリティを確保した上で、テレワークをはじめとする柔軟な働き方や、デジタルツールの積極的な活用による生産性向上など、これまで以上に働きやすい業務環境の実現に取り組んでいます。

また、効率的で質の高い行政を行うため、総務省の施策について政策評価を実施しているほか、総務省の政策への理解が深まるよう、分かりやすい広報に努めています。

この他にも、先の大戦による空襲等のため死亡した一般戦災死没者に対して追悼の意を表す事務や、旧独立行政法人平和祈念事業特

別基金から承継した先の大戦におけるいわゆる恩給欠格者を含む兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦に関する貴重な資料を後の世代に引き継ぐため、民間委託により、資料の管理、保管及び展示を行っています。



Topic

多様な職員が活躍する職場を目指して

デジタル化の推進や国の行政機関の業務改革を所掌する総務省では、デジタル技術を最大限活用した働き方改革を推進しています。

大臣官房秘書課働き方改革・業務見直し推進室では、職員の声を踏まえ、働き方改革の実現に取り組むとともに、業務見直しに係る研修、勉強会及びワークショップの開催などにより、各部局での業務見直しを後押ししています。

全ての職員が、育児や介護をはじめとする様々なバックグラウンドにあわせ、能力を最大限発揮し成長ややりがいを実感しながら、組織として成果を出す働き方ができるよう、今後も取組を進めていきます。



ワークショップの様子